

寒氣身を刺す

(昭和四十二年寮歌)

岡田雄三君 作歌
森田弘彦君 作曲

一

寒氣身を刺す北国の
永遠に名を覇す恵迪寮
四百野人の集いしに
我等が理想何時の日か
成さざらむとぞ意気高し

二

窈窕多し札幌に
弊衣破帽の身なれども
一度歌わば蜚声の
遠く手稲に木霊して
嗚呼誰か知る吾が野心

三

燃ゆる紅原始林
尽きぬ想いを酒杯に
酔えば肩取り乱舞する
吾等が行先に光明あり
樂しからずや此の饗宴

四

蒼空の下佇みて
木の葉身に降る秋の日に
仮いこの身は一介の
卑しきものと知るとても
吾が野望は永遠に